

令和 7 年 8 月 21 日

一般社団法人九州賢人会議所 会員各位

一般社団法人九州賢人会議所
会 長 石 原 進
学び事業担当理事 芦塚 日出美

学び事業「芸術文化」【第三回 承前啓後「日本の伝統芸能に触れる」】開催のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年も 10 周年記念事業の一環として実施致しました、「日本の伝統芸能」を守る活動、「承前啓後」を今年も開催する運びとなりました。

日本の伝統芸能を受け継ぎ、未来を切り拓くという理念のもと、第三回となる今回は、能舞台「森本能舞台」にて開催致します。

つきましては、ご多忙中とは存じますが、日本の伝統芸能に触れる貴重な機会となりますので、皆様お誘い合わせの上、是非ご参加くださいますようご案内申し上げます。

敬具

記

■◇■◇■ 【承前啓後 第三回「日本の伝統芸能に触れる」】 ■◇■◇■

・日 時:令和 7 年 9 月 21 日(日) 開場/14:00～、開演:14:30～

・開催場所: 森本能舞台 福岡市中央区警固 3 丁目 8-1

・アクセス:西鉄バス:「雙葉学園入口」バス停より徒歩 3 分、

地下鉄七隈線:「桜坂駅」より徒歩 8 分

・参加費:チケット 1 枚 5,000 円 ・ペア割 2 枚 9,000 円

・プログラム

- ・能楽
- ・お囃子
- ・津軽三味線
- ・日本舞踊
- ・出演者トークショー
- ・お楽しみ抽選会
- ・主な出演者

・今村 嘉太郎 (能楽師):福岡を拠点に活動されている能楽師で、2 歳半で初舞台を踏み、三代目として舞台に立たれています。

- ・森永 基木（藤間修一郎）（津軽三味線）：「三味線を現代に伝えたい」という思いから、和と洋の融合をテーマにパフォーマンスを展開されています。
- ・藤舎呂近社中（お囃子）：藤舎呂近、藤舎英心、福原寛瑞
- ・杵屋勝司郎（唄）
- ・杵屋巳津二郎（三味線）

・主 催：はかた芸処 わ乃桂

※詳細およびお申込みについては、以下の連絡先までお問い合わせください。

メール: shouzenkeigo@gmail.com

電話: 092-292-9472

・お申込みは、別紙ご案内の QRコード にてお願い致します。

・ご不明な点等がありましたら、直接、主催：「はかた芸処 わ乃桂」までご連絡をお願い致します。

以上

【お問合せ先】

九州賢人会議所：事務局長 町、担当：山下

TEL:092-451-8610/FAX:092-451-8612

E-mail:kyushu@kenjinkaigisho.com

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 2-9-28 商工会議所ビル 1 階

福岡市桜坂にある
能舞台「森本能舞台」

第三回

承前啓後

昔から受け継いできたものを大事にし、
未来を切り拓く

2025年9月21日(日) 開場14:00～ 開演14:30～

チケット1枚 5,000円, ペア割2枚 9,000円

<プログラム>

- | | | |
|---------|---|---------------------|
| 祝いめでた | : | 地方 藤舎呂近連中 |
| 開会の挨拶 | : | JR九州名誉顧問 石原進様 |
| トークショー | : | 今村嘉太郎、藤間修一郎、藤舎呂近 |
| 能舞 老松 | : | 今村嘉太郎 林本大 今村哲朗 |
| 長唄 老松 | : | 藤間修一郎 |
| <休憩> | | |
| 津軽三味線 | : | 森永基木 |
| 勸進帳 | : | 藤舎呂近連中 |
| お楽しみ抽選会 | | |
| お礼の挨拶 | : | (株)サイコー舎 代表取締役 泊敏朗様 |



主催： はかた芸処 わ乃桂
後援： メセナ協賛 (株) サイコー舎
九州賢人会議所

能「老松」

平安時代、藤原時平の讒言により太宰府に左遷された菅原道真公は、自邸の梅に「東風吹かば…」の歌を詠み残しました。すると梅は主を慕って太宰府へ飛び、これが「飛び梅(紅梅殿)」の伝説です。桜は自分に歌をかけてもらえなかった悲しみから枯れ、その報せを聞いた道真公は「梅は飛び桜は枯るる…」と詠みました。今度は咎められた松が後を追ひ「追ひ松」として太宰府に現れます。本作は飛び梅・老松を神格化し、道真公の奇跡を語る神能です。

日本舞踊「老松」

1820年、杵屋六三郎が母・ますの八十歳の祝いに「ます」を「まつ」に通わせて作曲し作詞も本人で、謡曲「老松」にヒントを得たといわれていますが、始めの次第と歌詞の一部を使用したのみです。

謡曲の詞章を切れ切れに用いながら、その合間に全く別の歌詞を入れることで、おごそかだったり穏やかだったり享樂的(きょうらくてき)だったり、実に変化に富んだ世界を描いています。その壮大な詞章を利用しながら様々な情景を描く本曲の根底には、家の幸せを喜ぶ素直であたたかな気持ちが込められているのかもしれない。

長唄の「老松」は、松が登場するさまざまな情景の断片を集めたアンソロジー(選集)のような曲で、今まで芝居に従属していた長唄というものが純音楽として劇場音楽から独立した最初の曲だといわれています。

「勸進帳」の見どころ

『勸進帳』は、源義経一行が奥州へ落ち延びる途上に安宅の関で弁慶が勸進帳を即興で読み上げ、主君を打ち据えてまで疑いを晴らす忠義と豪胆を描いた歌舞伎十八番の代表作で、長唄と囃子の華やかな響きに加え、今回は歌舞伎にはない合方「滝流し」も取り入れ、見どころを凝縮した構成により、演奏として一層華やかにお楽しみいただきます。

「祝いめでた」

以前は博多の代名詞の様に知られていた「祝いめでた」ですが今では知らない方が多くなってきています。わ乃桂では祝いめでたを100人で踊る「100人めでた」を初心者の方が三ヶ月で舞台に立つ企画を進めています。ご一緒に踊りませんか?

メイン出演者

今村 嘉太郎
地謡
林本大 今村哲朗



藤間修一郎
(森永 基木)



「藤舎呂近社中」

囃子 藤舎呂近
藤舎英心
福原寛瑞
唄 杵屋巳津二朗
三味線 杵屋勝司郎



協賛

※あいうえお順

アサヒ飲料株式会社 / 誠心製薬株式会社

ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社 / WASOMI.株式会社